

令和 3 年 6 月 18 日現在

機関番号：33929

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2020

課題番号：18K00394

研究課題名（和文）19世紀アメリカ文学に見る自然史と越境的想像力

研究課題名（英文）Natural History and Transcendental Imagination in the 19th Century American Literature

研究代表者

竹野 富美子（Takeno, Fumiko）

東海学園大学・教育学部・准教授

研究者番号：20751746

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 900,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、当時のアメリカにおける自然史研究が国内外の情勢と密接に連動し、グローバルな言説空間を構成していたことを検証するとともに、ヘンリー・D・ソローやエドガー・アラン・ポーの作品を取り上げ、自然史がこれらの作品に与えた影響を分析した。この分析を通して、19世紀米国における自然史研究の多様性が明らかになり、ソローやポーの作品が地域に根差した自然史研究と密接にかかわりがあることを考察し、その研究成果を研究発表4件（国際学会2件）、共著論集2件で公表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的社会的意義は、19世紀アメリカ文学に影響を与えていた自然史を、複雑な国際情勢を内包した言説空間としてとらえなおし、自然史関連の史料も参照しながら、自然史思考がどのように19世紀アメリカ文学の文学的想像力に影響を与えたかを、立体的に考察したことにある。「アメリカ合衆国」という国の枠組みからだけでなく、国際間の知的ネットワーク、読者ネットワークなどに着目しながら自然史を軸に、俯瞰的にとらえようと試みることで、ソローやポーらの作品の分析に新たな視点を提供することができた。

研究成果の概要（英文）：This project aims to explore the influence of natural history in the works of Henry David Thoreau and Edgar Allan Poe. The study analyzed that natural history research was closely connected to the international situation and formed a space for global discourse in the 19th century. Furthermore, the diversity in natural history research in the US during this period was revealed, and it was confirmed that the works of Thoreau and Poe were closely related to these regional researches. The results of this study were presented at four academic conferences (including two international conferences) and published as articles in two edited books.

研究分野：19世紀アメリカ文学

キーワード：19世紀アメリカ文学 英語圏文学 自然史 自然資源 ヘンリー・D・ソロー エドガー・アラン・ポー

1. 研究開始当初の背景

19 世紀中葉のアメリカ文学に関するこれまでの研究を通して、自然神学を出発点とし、実験、観察を重視する自然哲学を経て発展した自然史が、アメリカ文学に重要な役割を果たしていることがわかった。自然物を観察し、分類して命名する自然史は旧世界にとって、新世界の事物を把握する思考の枠組みであり、新世界の移住者にとっては自らの世界を理解する視点を提供するとともに、旧世界の知的ネットワークに参加できる手立てでもあったのだ。論文「ナサニエル・ホーソーンの世界の構築」(2013)や、日本米文学会中部支部シンポジウム「知のコミュニティの形成」(2014)で企画と司会、講演を担当し、メルヴィル国際学会(2015)やアメリカのソロー学会年次大会(2017)での発表を通して、ナサニエル・ホーソーン、ヘンリー・D・ソロー、ハーマン・メルヴィルなどの作家の作品において、自然史的思考が従来考えられているよりも重要な位置を占めていることを認識した。

また、本研究の学術的背景として、情報技術の進展に伴う社会のグローバル化によって、これまで準拠枠としてきた国家や地域、共同体のありかたが問い直されていることがある。近年アメリカ文学研究において、環大西洋や地域的文脈などから文学作品を再検討する動向が見られるのも、このような現状認識をもとにしているが、本研究はこの問題意識を共有し、19 世紀アメリカがおかれていた政治経済的文脈から、アメリカ文学の世界観に影響を与えていた自然史をキーワードに、アメリカ文学作品を捉えなおすことを計画した。

2. 研究の目的

本研究の目的は、19 世紀米文学に影響を与えていた自然史を、複雑な国際情勢を内包した言説空間としてとらえなおし、自然史関連の史料も参照しながら、ヘンリー・デイヴィット・ソローやエドガー・アラン・ポーらの諸作品に焦点をあて、自然史思考がどのように彼らの文学的想像力に影響を与えたかを、立体的に考察することであった。

本研究では、19 世紀米文学を「アメリカ合衆国」という国の枠組みからだけでなく、国際間の知的ネットワーク、読者ネットワークなどに着目しながら自然史を軸に、俯瞰的にとらえようと試みた。特に、当時の自然史研究の拠点となっていた博物学協会は、自然史に関心を持つ医師や実業家、知識人などの市民が集う、ゆるやかな知的交流の場でもあり、文学者ともつながりが深かった。これらの博物学協会の機関誌を読むと、自然史研究の担い手であった当時の知識人たちが、自然資源調査に力を入れる列強各国の動きを警戒しながらも、積極的にチャールズ・ライエルやフンボルトといったヨーロッパの知識人やその研究成果を受け入れ、アレクサンダー・ウィルソンやジョン・ジェイムズ・オーデュボンといった移民のナチュラルリストの活躍を支えるなど、国際的な知の生産の場となっていたことがわかる。ソローやポーが関心を寄せていた博物学協会の機関誌の記事と、ソロー、ポーの作品を比較検討し、当時のアメリカにおける自然史研究が国内外の情勢と密接に連動していたことを検証するとともに、自然史がこれらの作品に与えた影響と、その文学的想像力を分析することで、19 世紀米文学研究により広い視点を提供することを目指した。

3. 研究の方法

本研究では、ソローの「マサチューセッツの博物誌」、ポーの「黄金虫」などの作品を主に取り上げた。まず 19 世紀の国際情勢を反映している自然史研究についての調査のため、

自然史に関する文献を収集した。さらに、ソローやエマソンと関係の深かったボストン博物学協会の機関誌などの資料記録、「黄金虫」の舞台となったチャールストンでの自然史研究の受容を知るために、当時の自然史協会の記録や活動の記録資料を入手した。また、南北戦争以前の時代(アンテベラム期)の文学と自然史の関係についての国内外の文献を収集した。入手した文献、資料をもとに 1830 年代から 50 年代に発行されたものを中心に検討し、そこで明らかになった同作品と自然史との関連について、研究結果を国内外の学会にて口頭発表した後、研究成果を論文や書物にしてまとめ、発表した。

4 . 研究成果

本研究では、19 世紀米国における自然史研究の多様性が明らかになった。ヨーロッパを主導とした自然史研究はアメリカ南部、北部においてお互いに影響を与えながらも、独自の発展を遂げるようになる。プランテーション経営による農産物の輸出などにより、ヨーロッパと政治的経済的なつながりのあった南部は、フィラデルフィアを中心にヨーロッパの知識人や探検家を受け入れ、米国における自然史研究の先端を担っていた。一方、資本主義的商工業を中心に発展していった北部は、19 世紀初頭より国内市場の整備による経済成長をきっかけに、ライシーアムや自然史研究協会などの、市民に開かれた学術協会において、自然史の研究が盛んになっていく。同研究ではヘンリー・デイヴィッド・ソローの書評「マサチューセッツの博物誌」、エドガー・アラン・ポーの短編「黄金虫」などを取り上げ、それぞれの作品が地域に根差した自然史研究と密接にかかわりがあることを考察した。

これらの研究成果について、2018 年には "Ethan Brand" and Its Community' を International Poe & Hawthorne Conference (国際学会) にて、ポーと自然科学について日本ナサニエル・ホーソン協会中部支部例会において発表した。2019 年には 'Global Imagination of Edgar Allan Poe: "The Golden-Bug" and Natural History in South Carolina' を NMLA (国際学会) にて口頭発表、同年にボストン博物協会は、自然史研究活動を軸にエマソンやソローらの文学者を含む知識人や実業家で構成される知的コミュニティであったことを『繋がり詩学』にて執筆した。2020 年にはさらに「ホーソンの作品に見るヤング・アメリカ運動」を日本アメリカ文学会中部支部 9 月例会で発表、自然史ともかかわりの深いホーソンの海洋的想像力について『アメリカ文学と大統領 文学史と文化史』に執筆した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 竹野富美子
2. 発表標題 "Ethan Brand" and Its Community
3. 学会等名 The Poe studies Association, The Poe Society of Japan, The Nathaniel Hawthorne Society, and The Nathaniel Hawthorne Society of Japan (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹野富美子
2. 発表標題 エドガー・A・ポーと自然科学
3. 学会等名 日本ナサニエル・ホーソン協会中部支部研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 竹野富美子
2. 発表標題 The Global Imagination of Edgar Allan Poe: "The Gold-Bug" and Natural History in South Carolina "
3. 学会等名 Northeast Modern Language Association 50th Annual Convention (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹野富美子
2. 発表標題 ホーソンの作品に見るヤング・アメリカ運動
3. 学会等名 日本アメリカ文学会中部支部9月例会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計2件

1. 著者名 倉橋 洋子、高尾 直知、竹野 富美子、城戸 光世編著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 彩流社	5. 総ページ数 361
3. 書名 繋がりの詩学	

1. 著者名 巽孝之監修、大串尚代、佐藤光重、常山菜穂子編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 南雲堂	5. 総ページ数 刊行予定
3. 書名 アメリカ文学と大統領—文学史と文化史	

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------